Document No.01

QUASCAP 受審ガイド



QUASCAP

QUASCAP JAPAN

QUASCAP CHINA

１．QUASCAP 認証制度とは

この認証制度は、ユーザーが安心して使用できるためにアルミニウム形材の陽極酸化塗装（電着塗装）複合皮膜の品質を審査し、認証したものをユーザーが容易に認識できるようにロゴマークを付けて表示するものです。

✱品質認証の範囲

①材料種類　6063（AlMg0.7Si）、6061（AlMg1SiCu）などのアルミニウム形材[1)]

②表面処理　陽極酸化塗装（電着塗装）複合皮膜（以下複合皮膜という。）

③材料成分、強度については材料規格によるものを前提とし、本認証の対象としません。

注１）本認証はアルミニウム板材にも適用できるものとします

２．陽極酸化塗装複合皮膜の品質規格

ISO 28340 と JIS H 8602 の要求品質を別表 1 に示します。

３．ライセンス認証のための審査及びその手順

１）審査申し込み

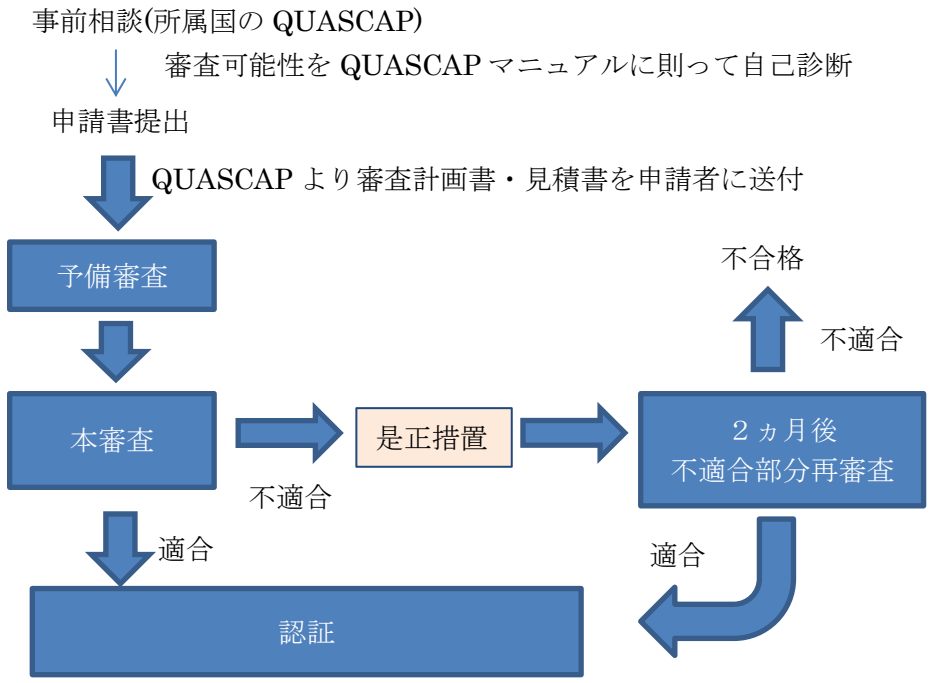
申請書（Application form）を QUASCAP に提出してください。

２）申し込みを受けた場合 QUASCAP から審査計画書を申請会社に送ります。

３）ライセンス認証のための初回審査

初回審査は、予備審査と本審査に分かれて行われます。本審査ですべて適合になれば認証（ライセンス）が与えられ、認定書が与えられます。もし、本審査で不適合事項があった場合は 2 か月以内に是正して再審査を受けることができ、それに合格すれば認証（ライセンス）が与えられます。

初回審査の流れを示します。



４）各段階の審査内容と試験を別表 2 に示します。

４．審査費用

審査及び認証に必要な費用を別表 3 に示します。

５．試験

１）試験所

品質評価試験は、日本軽金属製品協会試験研究センター及び中国有色金属質量監督検験センターが協力して実施します。

２）試験項目と試験費用

ISO 28340 と JIS H 8602 の試験項目及び試験費用を別表 4 に示します。

６．塗料の品質

・塗料の品質は、複合皮膜の品質の重要な要因であり、審査員会が実績のあると認めた塗料のみ使用を認めます。実績の有無の判断は、以下の通りです。

①必要な試験設備を有する塗料メーカの製品であり、塗料の試験成績書を提出していること。

②JIS 表示許可工場において使用実績のあるメーカの製品であること。

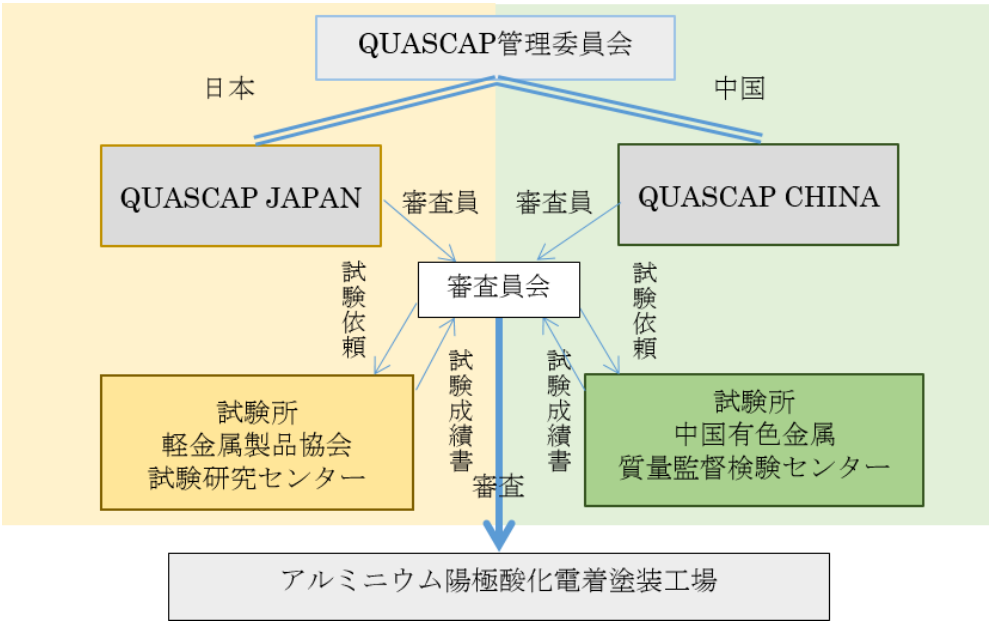
・実績がない塗料メーカの製品については塗料審査を行って使用の可否を決定する。

７．認証工場のメリット

認証を受けた工場は、生産する複合皮膜製品、同製品の送り状、製品カタログ、会社案内に ISO 28340 の品質に適合したものとして QUASCAP ロゴマークを使用することができます。また QUASCAP はこのマーク表示された製品の使用をユーザーに推奨します。

８．組織とシステム

QUASCAP 認証制度は日中の認証機関が共同で行います。システムは次の通りです。



事務局：日本軽金属製品協会試験研究センター内

QUASCAP JAPAN

別表１　複合皮膜の性能対比表　ISO 28340-2013／JIS H 8602-2010

項目		ISO 28340-2013				JIS H 8602-2010			
		性能				性能			
種類		Class 4	Class 3	Class 2	Class 1	A1	A2	B	C
外観		きず、むら、はがれなどの欠点がないこと。				← ISO に同じ。			
色		品質は受渡当事者間の協定による。				－（規定なし）			
光沢		品質は受渡当事者間の協定による。				－（規定なし）			
陽極酸化皮膜厚さ		5μm 以上				← ISO に同じ。			
耐食性 注 2)	CASS	120h		72h	24h	← ISO に同じ。			
		RN　9.5 以上							
	AASS	1500h	1500h	1000h	－	－（規定なし）			
		RN　9.5 以上							
塗膜の硬さ		（鉛筆引っかき硬さ）3H 以上				－（規定なし）			
塗膜の付着性		碁盤目試験 25/25				← ISO に同じ。			
		沸騰水試験 5h で塗膜にしわ，割れ，ふくれ及び著しい変色がないこと。				← ISO に同じ。			
		沸騰水試験後の碁盤目試験で 25/25				← ISO に同じ。			
塗膜の耐溶剤性		試験後の硬度低下が 1 単位以下				← ISO に同じ。			
耐アルカリ性 注 1)		24h			8h	← ISO に同じ。			
		RN　9.5 以上							
耐酸性　注 1)		塩酸滴下 15 min				－（規定なし）			
		塗膜にふくれ、割れ、はがれのないこと。							
耐摩耗性　注 1)		噴射摩耗：35 秒以上 砂落し摩耗：620 秒以上				－（規定なし）			
複合耐食性 注 2)	紫外線	240h			－	← ISO に同じ。			
	CASS	120h		72h	－	← ISO に同じ。			
		RN　9 以上			－	← ISO に同じ。			
	AASS	1500h		1000h	－	－（規定なし）			
		RN　9 以上			－				
促進耐候性 注 2)	キセノン	4000h	2000h	1000h	350h	← ISO に同じ。			
		著しい変退色及びチョーキングがないこと。							
		光沢保持率 75%以上							
	サンシャイン	3000h	1500h	750h	250h	← ISO に同じ。			
		著しい変退色及びチョーキングがないこと。							
		光沢保持率 75%以上							
屋外暴露　注 1)		5 年	3 年	1 年	－	－（規定なし）			
		著しい変退色及びチョーキングがないこと。			－				
		光沢保持率 50%以上		－	－				
		RN　9 以上			－				

注 1）ISO では顧客の要求があれば実施する。

注 2）試験方法を選択する。

別表２　各段階審査項目及び試験

審査段階		予告	審査日	審査項目	試験	認証
初回審査	予備審査	有り 1か月前通知	審査申請書の受付から 2 か月以内	社内文書（事業所理念、社内規格、QC 工程表） 品質管理記録など	品質試験記録確認 耐候試験サンプリング	
	本審査	有り 1か月前通知	予備審査から 4 か月以内	現場審査 品質管理記録	品質試験記録 現場試験 試験所試験全項目のサンプリング	審査結果決定後 1 月以内発行、有効期間は 3 年
	再審査	有り 1か月前通知	本審査の不適合があった場合 2 か月以内に実施	初回審査の不適合事項	審査員会が必要と認めた試験	
中間審査		無し	・初年度：認証を与えてから 6 か月以内	初回審査の指摘事項 審査員が必要とする項目	審査員会が必要と認めた試験（促進耐候試験を除く）	
定期維持審査		無し	認証を与えてから 1 年後 ・以後年 1 回	前回審査の指摘事項 審査員が必要とする項目	審査員会が必要と認めた試験（促進耐候試験を除く）	
更新審査[注 3]		無し	3 年毎	現場審査 品質管理記録	品質試験記録 現場試験 試験所試験全項目のサンプリング	審査結果決定後 1 月以内発行、有効期間は 3 年
臨時審査		無し	塗料型式変更など重要な変更の場合	変更事項に係る事項	変更事項に係る試験	

注 3）更新審査では予備審査は行わない。

別表３　審査費用（税抜）

審査段階	初回		維持審査	更新審査
	予備審査	本審査		
審査日数	2 日	1 日+ライン数	1 日/1 ライン	1 日+ライン数
申請料	$ 1,100	-	-	$ 1,100
審査料[注4]	1 人 1 日 $ 500 +出張旅費	1 人 1 日 $ 500 +出張旅費	1 人 1 日 $ 500 +出張旅費	1 人 1 日 $ 500 +出張旅費
認証料	-	$ 4,000	-	$ 4,000
審査員数	日中各 2 人	日中各 2 人	日中各 1～2 人	日中各 2 人

注 4）出張旅費は、交通費、宿泊費の実費とする。

別表４　試験費用（税抜）　　単位：USD

	試験項目	ISO				JIS			
		A1	A2	B	C	Class4	Class3	Class2	Class1
1	外観	審査費用に含まれる							
2	色	審査費用に含まれる							
3	光沢	35				規定なし			
4	陽極酸化皮膜厚さ	審査費用に含まれる							
5	耐食性(CASS)	20			90	20			90
6	促進耐候性（キセノン）	4,300	2,150	1,100	400	4,300	2,150	1,100	400
7	複合耐食性(CASS)	2,000		1,900	規定なし	2,000		1,900	規定なし
8	付着性（碁盤目試験）	50							
9	付着性（沸騰水碁盤目試験）	90							
10	塗膜の耐溶剤性	50							
11	耐アルカリ性	50			20	50			20
12	屋外暴露フロリダ（アメリカ）	11,000			規定なし	規定なし			
	北京（中国）	1,800							
	取手（日本）	1,800	1,080	360					
13	耐酸性	50							
14	耐摩耗性（噴射摩耗・砂落とし摩耗より選択）	90							

ISO 選択の場合、塗膜の硬さ試験を兼ねます。
色地部分は任意です。

初回審査費用試算例

ライン数：2 ラインと仮定して算出

申請費　$1,100

予備審査：4 人×2 日　$500×4×2＝$4,000

本審査：4 人×3 日　　$500×4×3＝$6,000　　審査費合計　　$10,000

旅費　。

予備審査　　航空券代　$800×2 人＝$1,600

ホテル代　$100×4 人×3 泊　　＝$1,200

現地交通費　$100

本審査　　航空券代　$800×2 人＝$1,600

ホテル代　$100×4 人×4 泊＝$1,600

現地交通費　$150　　旅費　　$6,250

合計＝申請費＋審査費＋旅費＝$17,350

上記費用には通訳料は入っていません。英語で受審される場合は、通訳は不要。中国語で受審される場合は日中の通訳が必要ですので通訳料が加算されます。

試験費用試算例

※下記は試算例で、通貨レート・試験内容等により異なりますので、申請書提出後の見積書にてご確認ください。

別表 5-1　ISO 28340 の場合　　単位：USD

試験項目	Class4	Class3	Class2	Class1
光沢	35	35	35	35
促進耐候性（キセノン）	4,300	2,150	1,100	400
複合耐食性（CASS）	2,000	2,000	1,900	0
耐食性（CASS）注5	440	440	270	90
乾式付着性	50	50	50	50
湿式付着性	90	90	90	90
耐溶剤性	50	50	50	50
合計	6,965	4,815	3,495	715

別表 5-2　JIS H 8602 の場合　　単位：USD

試験項目	A1	A2	B	C
促進耐候性（キセノン）	4,300	2,150	1,100	400
複合耐食性（CASS）	2,000	2,000	1,900	0
耐食性（CASS）注5	440	440	270	90
乾式付着性	50	50	50	50
湿式付着性	90	90	90	90
耐溶剤性	50	50	50	50
耐アルカリ性	50	50	50	20
合計	6,980	4,830	3,510	700

注 5）複合耐食性と同時に行うので Class1 以外は試験費は不要で試験片準備と検査費のみ。